学校番号	209

令和８年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　科学と人間生活　改訂版						
副教材等	サンダイヤル　科学と人間生活の学習ノート　改訂版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ノートや配布したプリントをきっちりと書き込み、内容の理解に努めてください。授業は、積極的に参加し、わからない点や疑問に思ったことは積極的に教員に質問するようにしてください。予習復習をしっかり行い、内容の理解を深めるようにしてください。考査前には、教科書を読み、示された範囲の問題集をやっておく、事前の演習問題などは、何度もくりかえしやり理解を深めるようにしましょう。実験では積極的に取り組み、自分で考える力をつけてほしいと思います。班やペアでの役割分担や働きに注目します。そして評価を行います。
考査は、問題文をしっかりと読み何を聞かれているのかをよく理解し答えるように。また、時間が余れば見直すようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
身近な現象についての知識、実験技術が習得できている。
【思考力、判断力、表現力等】
グループ学習や実験を通じて、現象や実験結果について考察できる。
【学びに向かう力、人間性等】
新たな課題や目標設定を行うことができ、課題を解決することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・科学全般の現象やしくみが理解できているか。 ・実験操作を習得し、実験レポートに結果をわかりやすくまとめることができるか。 ・ノート・プリントをわかりやすく整理しているか。	・こちらの発問に対し、的確に答えられているか。 ・身近な科学についての理解が深まっているか。 ・グループワークなどで発言できるか。また内容を取りまとめられるか。 ・レポート作成の内容。	・科学全般について、興味・関心をもち、積極的に授業に取り組むことができるか。 ・仲間と協力して実験・探究する姿勢を示すことができるか。 ・小テストなどにまじめに取り組めるか。 ・レポート作成が行えるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生命の科学	微生物とその利用 ・微生物の存在 ・生態系における微生物 ・微生物と人間生活	a:身の回りの微生物の役割について理解している。 b:発酵と腐敗の違いを判断でき、将来の人間生活に微生物の利用の可能性が考察できる。 c:微生物の研究史や発酵食品について関心をもち、発酵の応用について理解しようとする。	定期試験 小テスト 実験	定期試験 小テスト 実験 レポート	ノート プリント 小テスト レポート 実験
1学期 2学期	物質の科学	材料とその再利用 ・プラスチック ・金属 ・セラミックス	a:共有結合、重合について理解している。金属やプラスチックの性質と違いを理解している。 b:プラスチック・金属の化学的性質の違いから分類し、用途や利用方法を考察できる。再利用方法や実験結果を考察できる。 c:さまざまなプラスチックや金属の性質、リサイクルについて興味、関心をもつ。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト 実験 レポート	ノート プリント 小テスト レポート 実験
2学期	光の科学	光の性質とその利用 ・光とは何か ・光の性質 ・電磁波とその利用	a:　光の反射･屈折･分散･散乱･回折･干渉･偏光などの現象について理解している。 b:光の反射･屈折･分散･散乱･回折･干渉･偏光の現象を科学的に考察できる。 c:光に関係する現象について興味、関心をもつ。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト 実験 レポート	ノート プリント 小テスト レポート 実験
3学期	地球の科学	自然景観と自然災害 ・地震による景観と災害 ・火山の景観と災害 ・流水による景観と災害	a:プレート移動や自然災害について理解する。 b:なぜ日本に火山が多いのかを考察する。火山に伴う現象を考察する。ハザードマップを利用し、安全な移動経路を考察する。 c:自然の景観を生み出す要因や自然災害について興味、関心をもつ。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト 実験 レポート	ノート プリント 小テスト レポート 実験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度